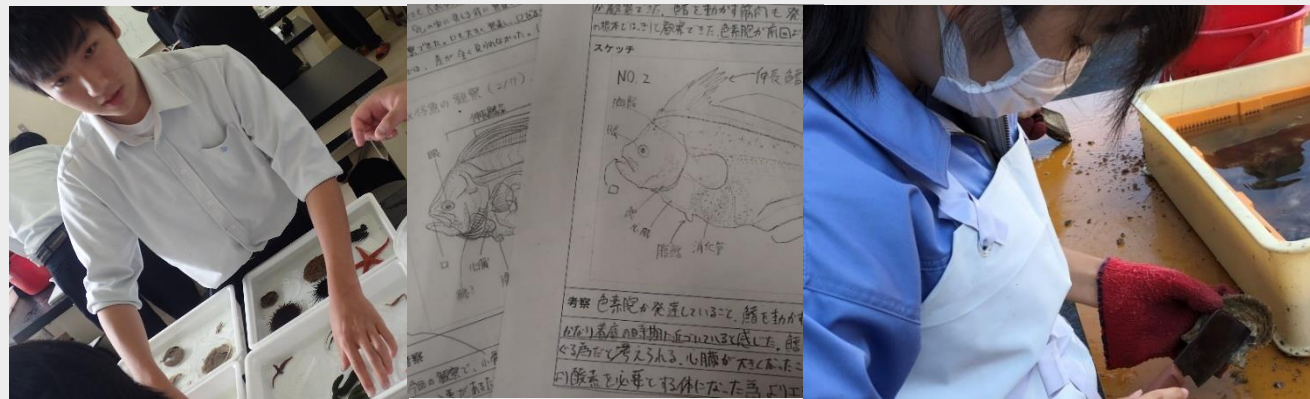


生物環境科



生物環境科では
水産生物の飼育技術や海の環境、沿岸漁業などについて学びを深め、
「海を守り、海を豊かにする人材」を育てることを
 目標としています。

海洋科学高校だからできる！ 生物環境の学び

種苗生産について

魚や貝の数を守るため、他の生物に食べられにくい大きさとなるまで、
 人の手で育てていく技術を学びます。
 本科では、ヒラメやアワビ、ナマコなどの種苗生産を行い、合わせて
 初期餌料となるプランクトンの培養技術・飼育管理法も学びます。

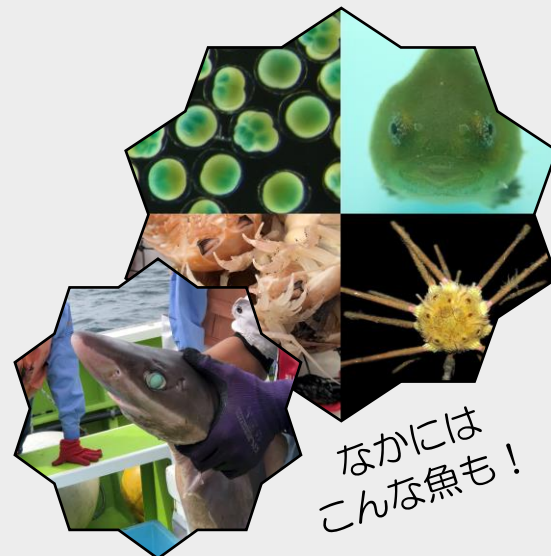


沿岸漁業について

幅広く漁業について学ぶとともに、「つくり育てる漁業」として沿岸漁業における栽培漁業
 の役割について学びます。アコヤガイの生産実習や漁具製作などの実習も行います。

海洋環境と生物調査について

水産生物が生息する海洋環境について学び、水質調査やフィールド調査や
 藻場等の漁場環境の保全活動を行っています。調査では水産庁や神奈川県、
 東京大学、地元漁協等と連携をしており、専門の方々とかかわることで
 卒業後の進路選択にも役立たせることができます。



生物環境科 自慢の授業！



「資源増殖」「海洋生物」の授業では、実験やフィールド調査、
 乗船実習など多くの実習を取り入れ、「本物を体験して
 学び、理解を深める」ことを目指します。

生物環境科で過ごす高校生活の一例



フィールド調査へ

波打ち際から砂浜までを数区分
 に分け、生物を採集します。
 これにより、磯の環境における
 生物分布の違いについて調査
 することができます。

図鑑で生物調べ

実習場に戻り、採集した生物を
 図鑑で調べながら分類します。
 図鑑でもわからない場合は、大
 学の専門家に相談することも！

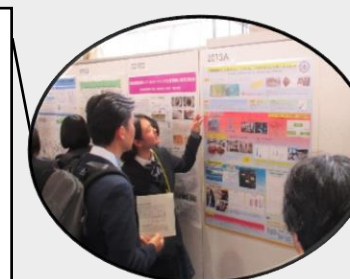


グループ協議と発表

得たデータをもとに、調査
 した環境を分析します。
 グループで話し合いをした
 後、考えをまとめ、発表を
 行います。

外部での発表につなげる

授業外の時間を使い、研究活動
 を進める生徒もいます。
 日本水産学会やアマモサミッ
 トなど、様々な場で活躍してく
 れています。



目指すべき資格取得

校内受験	危険物取扱者乙種4類、家庭動物飼育検定
自主受験	生物分類技能検定、潜水士、2級小型船舶操縦士、ダイビングCカード

目指すべき進路実現

進学	東京海洋大学、東海大学、東京農業大学、水族館スタッフ等をを目指す専門学校など
就職	沿岸漁業従事者、水産加工流通会社、県内外養殖業、観賞魚卸売など



生物環境科 園原靖雄 総括教諭

生物環境科では、目の前が海という長井海洋実習場の環境を最大限にいかし、実験・実習を多く取り入れています。海の生き物が好き、環境について興味がある、将来は沿岸漁業に携わりたい、大学で海洋の学びを深めたいという方はぜひ生物環境科へ来てください！